

県議会議員 大川ただお 議会報告

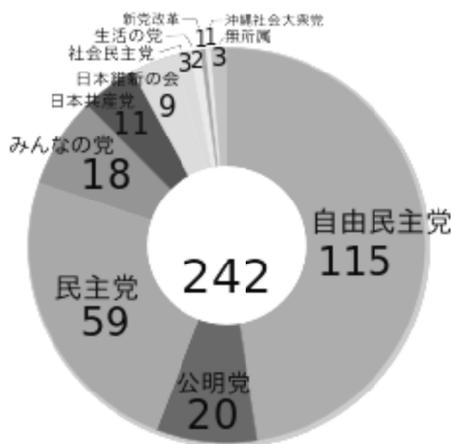


第23回参議院選挙結果

7月21日に投開票された参議院選は、自公両党が70議席を越す結果を収め衆参両院の与野党ねじれの解消が決まり、現政権は当面、政権運営を主導できる基盤を得ました。

前回の衆議院選挙も投票率が伸びない中、経済を重視した政策の評価とともに前政権の与民主党批判と重なり自民の圧勝。引き続き東京都議選でも政権批判の受け皿は共産へ流れ、投票率が下回った。他党は重要政策が重なり合い、お互いに競り負けるという結果となり、有権者は「アベノミクス」の期待感と相対的な安定政治が望まれ、今回の参議院選挙でも昨年の衆院選と同じ構図となったと考えます。

この選挙結果を受け、政権与党は原発稼働も含めた成長戦略の具体化、消費税率の引き上げ、憲法改正、TPP交渉を進めていく取り組みに移行するでしょう。しかし、超高齢社会はすぐ目の前に迫り、人口減少社会は確実に到来します。社会保障をめぐる具体案の提示やエネルギー政策など、山積する国内外の重要に対し、しっかりと政策に取り



組み、経済再生の国民の声の期待に応えるため、衆院・参院はもとより与党・野党を超え総力を結集し成果を出してくれることを期待します。

6月定例 県議会報告



6月定例県議会は7月2日、1066億9600万円の今年度一般会計予算補正案など39議案と、いじめ・体罰の根絶に向けた決議など発議案12議案を可決し閉会致しました。また、坂本森男副知事の後任として元総務省大臣審議官の諸橋省明副知事が就任致しました。

25年6月補正予算

この、6月議会において一般会計、補正予算 約 1,066億9,600万の増額について可決されました。補正後予算額は1兆5,834億5,400万円となります。

主な議案概要

議案第1号から議案第13号
一般会計補正予算

議案第14号 県職員給与を平均7.8%引き下げる条例改正案

議案第16号 審議会等を地方自治法上の付属機関として追加

議案第18号 新たな工業団地の整備

議案第22号から議案第26号 基金関連の議案

議案第30号 警察官の定員を増加

議案第33号議案第34号 市川妙典橋の上部工工事請負の契約を締結

議案第35号 大気常時監視自動計測器の損害賠償請求事件の和解



補正予算で可決された主な事業について

1 災害・危機管理対策

帰宅困難者や高齢者、女性にも配慮した災害時の物資備蓄。

津波対策・河川の津波訴状の影響についての調査。
社会福祉施設や医療施設の耐震化工事、に対する助成。
障害者の避難スペースの整備に対する助成など福祉施設の防災対策。

2 安全・安心

振り込め詐欺やひったくりなど、犯罪件数は依然として高く、また、昨年度の交通事故件数は全国ワースト9位で、県民が安全で安心して暮らせる社会づくりのための環境整備として、

コンビニエンスストアへの防犯ボックス設置。
詐欺・悪質商法抑止コールセンターの延長。
交通事故防止の整備、拡充。



3 医療・福祉・環境

急速に高齢化が進む本県では、地域の医療・福祉の体制づくりと人材確保の課題として、

がんセンターの再整備に向け県内医療機関における看護の定着を図るため、新たに看護実習生を受け入れる病院の体制整備を支援。

特別養護老人ホームの補助単価を

400万円に引き上げ、緊急的整備の促進。

小規模介護施設の整備、施設の開設準備経費への助成増額、看護環境の充実。

「エコ住宅」の普及拡大を図るため、新たに、家庭用燃料電池や蓄電池など、住宅用省エネルギー設備への助成。

盗難車両の不法な解体などが行われ、犯罪の温床となっていると指摘されている「不法ヤード」への条例の制定を検討。



4 こども・教育

子どもたちが、心身ともに健やかに育つよう社会全体で支える環境づくり、教育環境の充実として、

待機児童の早期解消をはかるため、保育所の整備に対する県独自の上乘せ補助を継続。

新たに民間保育士の給与水準を改善し助成を行い保育士の確保。

公立小中学校165校に放課後学習支援を行う学習サポーターの派遣。

高校、幼稚園、私立学校の経常費補助単価上乘せ額の拡



充、私立学校の振興と保護者負担の軽減。

5 千葉の魅力発信・観光

千葉県の魅力を国内外に発信。
外国人観光客の誘致強化。

6 産業の活性化・雇用対策・基盤整備

中小企業金融円滑化法の終了や円安など、中小企業を取り巻く環境は大きく変化しております。そこで、
中小企業振興資金の融資枠を5,700億円に拡大。
雇用企業開拓員を配置し緊急雇用創出事業を拡充。

地域や皆様から、県へのご意見ご要望ございましたらお寄せ下さいませようお願い致します。

最後に、県民栄誉賞の授与についてご報告いたします。
長嶋茂雄 読売巨人軍終身名誉監督は、広く県民に敬愛され、社会に明るい希望と活力を与えるとともに、千葉県の



名を高めることに顕著な功績があったことから、5月31日、県民栄誉賞を授与いたしました。

長嶋氏は、佐倉市の出身で、プロ野球巨人軍の選手として活躍し、その勝負強さやはつらつとしたプレーは多くの国民を熱狂させ、プロ野球を国民的スポーツに発展させた最大の功労者で、県民のみならず、国民から今もなお愛される存在です。

改めて、県民を代表して敬意を表するとともに、今後のさらなる御活躍を期待しております。

県議会議員 **大川忠夫** 後援会事務所

〒262-0018

内部資料

花見川区 畑町 599-17

TEL 043-272-3888

FAX 043-272-3889

<http://www.ookawatadao.com>

E-mail: ookawajimusyo@car.ocn.ne.jp